



平成21年度



防災(避難)訓練実施

日時 平成21年11月1日(日)午後3時～
(当日の流れ)

- ① 災害発生(担当理事がマイクで呼びかけ)と同時に各階段毎に避難者を集め、点検し棟ごとに「さる山公園」まで避難路に沿って避難する。
- ② 「さる山公園」で再度参加者全員の安全、無事を確認し、指定された場所に座り(イス席の用意もあります)消防署員、担当理事の指示に従って消火訓練などを行う。
- ③ 避難訓練と並行して実施する「炊き出し訓練」により用意された「非常食」の提供を受ける。(アルファ化米・クラッカー・子どもにはお菓子など)

9月末にはスマトラ沖、10月8日にはバヌアツ沖、その他フィリピンのスルー諸島などでたてつづけに大規模な地震が発生し、日本にも津波がおしよせるなど、遠い南太平洋とはいえ、他人ごととは言っていない状況が続いています。

震災ではありませんが、日本でも台風18号では大変な被害を受けました。台風のように、何日にきますよとしっかりわかっていてそれなりの準備をしても、いざきてみるとやはり被害を受けてしまうものです。

ましてや、いつ起こるかわからない地震に対しては普段からの心構えがとてもし大事になってきます。

今年も階段ごとにまとまり、災害弱者といわれる高齢者や幼児などを助けながらみんな避難をします。

高齢者や脚に不安がある方などは、ぜひ積極的に参加していただきたいと思います。実際に災害が起きたとき、そういう方をどう助けるかが大事なのです。そのための訓練でもあります。

当日は午前中から、理事、タマリバ委員、地域活動委員などの有志が炊き出し訓練を行います。調布市より支給される、アルファ化米（山菜おこわ）、クラッカーなど、300名分を作り、階段ごとに分けて集会室に用意しますので、指示に従って階段委員は取りにきてください。子どもの参加者にはお菓子も配られます。

お互いに声を掛合って一人でも多くの方の参加をお願いします。

**いざという時、
あわてない様に
訓練に参加して
いろいろなことを
確認しておこう！**



**訓練のあと
は「芋煮会」
があるよ！**